



ある。そこにポツンと1軒ある出来た
ての集会所に約100名の養殖に携わる
方々が集うことになっていた。

気 仙沼港は外洋の漁船が集う所で、
その燃料基地でもあった。それ
らに火が付き、津波と共に町を襲った
のである。テレビでは漆黒の夜に気仙
沼が燃えている様子が生々しかった。
この地で帆立貝のクリームスープ、ク
リスマス風ローストチキン、クリスマ
スケーキにホットチョコレートなどを
ゴブラン会の仲間と共にサービス出

来、子供達の明るく未来のある笑顔に
接し、又、現地の皆さんと食の喜びを
分かち合えた事は決して忘れまい。そ
して又、ゴブラン会でこのような支援
が実現できたことは、それぞれの地元
の多くの料理人の皆さん方が献身的な
サポートをして下さったからこそであ
る。本来その一人一人の名前を記して
御礼申し上げたい所であるが、誌面の
関係上、割愛させていただく事が忍び
ない。

日

本は風光明媚で美しい風土
を持った国である。しかし、
自然の災害も多い。そんな

時、人と人との助け合いの中で真の絆
が芽生え、明日への希望が持てるので
ある。その人々の身になって思い考え、
行動してこそ友愛が生じ、起動させる
何かが身を貫く。そしてその実際の行
為によって自分自身が励まされ、救わ
れるのである。



震災当日は、日帰りのお
客様が3000名と前日
お泊りのお客様が300
名、当日お泊りのお客
様が600名いらっしゃ
いましたが、11月13日の早朝にはバス
18台で12時間をかけ全員怪我も病気も
なく無事に東京駅までお送りすることが
できました。社員の中にも身内が亡くな
った方や、家を津波で流された方がたく
さんいた中、全員一丸となってお客様を
ご無事に自宅まで送り届けるという自
らの業務に専念いたしました。
その後、3月15日には、福島原発でい
わき住民に対し非難勧告があり、当スバ
リゾートも社員は自宅待機、会社も休業
をやむなくされましたが、ライフライン

がズタズタに分断された状況を見て、社
員総出で炊き出しや自社バスによる送迎
で避難者へお風呂の提供を行い、さらに
5月からは広野町民避難者30,500名を
受け入れ、なんとか皆で協力しながら朝
昼・夕食を提供いたしておりました。
そのような折り、中村会長から炊き出し
をしたいとのありがたいお電話が有り、
ゴブラン会の有名シェフの皆様が多勢で
かけつけていただきました。中村会長自
らが先陣を切ってサービスやお替わりま
でやっている姿は全員を感動させました。
広野町の人たちからも、こんな有名なシェ
フ達がたくさんわざわざ来てくれてこんな
に美味しいものをいただけただけに驚き
と感謝の言葉をいただき、私達も大変う
れしくなりました。中村会長はじめボラ

ンティアでこられたゴブラン会のシェフの
皆様に感謝申し上げます。本当に有難う
ございました。
当社スバリゾートハワイアンズですが、
46年ぶりのフラガールの全国巡業を行
い、おかげさまで10月1日には部分オ
ープンにおぎつけることができました。ま
だまだ風評被害等も消えませんが、来年
2月8日にはなんとかグランドオープン
を予定いたしております。
今後ともさらなるご支援・ご指導をよろし
くお願い申し上げます。

スバリゾートハワイアンズ事業本部
執行役員 事業副本部長 菊地 重憲